

ニーズ提供者の情報

| | | | |
|-----|---|-----------------------------------|------------------------------------|
| 組織名 | 長崎県壱岐市 | | |
| 属性 | <input checked="" type="checkbox"/> 地方自治体 | <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 | <input type="checkbox"/> 協同組合 |
| | <input type="checkbox"/> 非営利法人 | <input type="checkbox"/> 営利法人(企業) | <input type="checkbox"/> 国等機関の出先機関 |
| | <input type="checkbox"/> その他() | | |

ニーズの概略

| | | | |
|------------|--|---|--|
| 解決したい課題の分野 | <input checked="" type="checkbox"/> 水産（漁船漁業） | <input type="checkbox"/> 水産（養殖業） | <input type="checkbox"/> インフラ管理 |
| | <input type="checkbox"/> 洋上風力発電 | <input checked="" type="checkbox"/> 環境・海洋ごみ | <input type="checkbox"/> 観光・教育 |
| | <input type="checkbox"/> 災害対策 | <input checked="" type="checkbox"/> 離島物流 | <input type="checkbox"/> その他 () |
| 何をしたいか | <input type="checkbox"/> 画像・動画撮影 | <input type="checkbox"/> 計測・診断 | <input type="checkbox"/> 採捕・採取 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング | <input checked="" type="checkbox"/> 運搬 | <input checked="" type="checkbox"/> 清掃 |
| | <input type="checkbox"/> その他 () | | |
| 得たい効果 | <input checked="" type="checkbox"/> 業務効率化 | <input checked="" type="checkbox"/> 業務コスト低減 | <input type="checkbox"/> 危険業務回避 |
| | <input type="checkbox"/> 業務高度化 | <input type="checkbox"/> 新規事業創出 | <input checked="" type="checkbox"/> 精度向上 |
| | <input type="checkbox"/> 脱炭素等の環境対応 | <input type="checkbox"/> その他 () | |

海の次世代モビリティを求める背景

<藻場のモニタリングにおけるニーズ>

- ブルーカーボンの推進に力を入れており、空中ドローンで沿岸域を撮影し、藻場の確認や定点的な海藻量の調査を検討中であるが、光の状況や潮の満ち引き、波の状況により見え方が変わるため、実際の海藻量より少なく見積もっている可能性があることが懸念される。
- 水中ドローンで自動運行し、海藻がある場所を撮影できれば藻場を正確に確認できるが、金額や性能の面でギャップがあり、まだ利用には至っていない。壱岐市ではJブルークレジットの認証を受けており、クレジットの譲渡が進めば調査費用が捻出できるため、性能の高い海の次世代モビリティを用いて正確な藻場の範囲を特定できる可能性があると考えている。

<海洋ごみの回収のニーズ>

- 対馬において海洋ごみの対策に海の次世代モビリティを活用できないかを検討している。海岸に漂着したものは人力で回収できるが、海の次世代モビリティを活用して沿岸で回収できるとよいと考えている。

<離島物流のニーズ>

- 壱岐には二次離島があり、人口が少ないため物資の運搬手段として海の次世代モビリティの活用が考えられる。現在はフェリーの定期航路に依存しているが、海の次世代モビリティをフェリーと補完関係にできれば良いと考えている。現状では空中ドローンや海の次世代モビリティは重さの制約があるため、大きなものが運べるようになればニーズが出てくる可能性がある。

<漁船の船底清掃のニーズ>

- 壱岐市では千隻以上の漁船を一台ずつ船揚場に上げて、動力噴霧器で何日もかけて船底清掃を行っている。夜間に船底清掃を行う自動システムがあれば、高齢の漁業従事者に対して需要があると考えられる。

求める技術とスペック

- 藻場調査時に水中ドローンを活用したが、外海の波が強く操作が難しいという操作性の課題があった。外海の流れの強い場所でも安定して操作ができるスペックがあると作業が効率化する。